

読書コーナー

知能とは何か ヒトとAIのあいだ

著者：田口 善弘
出版：講談社

最近のAIの発展等は目覚ましいものがあると思っています。我々の仕事や色々な業種にとっての便利さもある中、人間が行うことに対してAIに取って代わる日が来るかもしれないと取り沙汰されてもいます。

そんな中、最近のチャットGTPなど目につくことも多くなってきましたので、自分でも知識の一つとして考えてみようと思いました。

この書籍を読んでみて、以前はAI＝人工知能と考えていましたが、そうでなく脳科学との比較的な考えもわかり益々興味が湧いてきました。

チャットGPTに代表される生成AIは、機能を限定されることなく幅広い学習ができる汎用性を持っている。そのため将来AIが何を学ぶかで飛躍的に精度は上がると思います。

この書籍には、これまでのAI研究の経緯や動作原理などが非常にわかりやすく書かれていて、我々でも十分に深いと



ころまで理解できます。AIの言語処理は確率だけで次の言葉を選んでいくのではなく、メモリに関連度の高いデータを持っているからこそ自然言語処理を活用して人間の言語と似ている言葉が生成されるとわかりました。

しかし私の考えでは、あくまで人間がデータを与えなければ色々な言語は生成出来ないと思っています。そして我々人間には五感がありますが、その五感は脳が処理し感覚として伝わります。これが生成AIに出来るのか？もしそうなれば、AIが自我や意識を獲得し自発的に行動して人間とのやり取りや感情移入により、人間と敵対してしまう行為も生まれるのではないかと心配もあります。そこは飛躍しすぎる考えかもしれませんが…

著者からは、「少なくとも現在の生成AIの延長線上には、人間に匹敵する知能と自我を持つ人工知能が誕生することはない。その理由は、知能という言葉で一括りされているが、人工知能と私たち人間の持つ知能とは似て非なるものであるからだ。」と見解もあります。

脳科学の観点から見れば生成AIがそこまで発展することは無いのかもしれませんが、私はSF的に考えれば第2の脳が誕生するなんて事も考えられると思っています。

将来の生成AIが人類の未来を手助けするものとして発展してくれることを願います。

(文責：半田)

新入社員 紹介



内藤 楓香

4月からかなた税理士法人に入社いたしました、会計税務部I課の内藤楓花と申します。

趣味はプロレスと韓国ドラマを見ることです。プロレスはよく現地観戦に行っていました。韓国ドラマは時代劇から現代まで幅広く好きで見たいものが溜まっています。

学生から社会人になり、まだまだ不安や緊張、わからない事が多く、ご迷惑をおかけすることがあると思いますが、早く仕事に慣れて活躍できるよう精一杯取り組みますのでよろしくお願いいたします。



編集後記

5月といえばいわゆる「5月病」が話題になる時期です。気温も上がり暑くもなってきますので、心も体も大切にしていきましょう。

かなた新聞

高橋税経グループ

かなた税理士法人

■かなた税理士法人 Tel: 027-364-5568

■群馬M&Aセンター Tel: 027-364-8040

■相統手続支援センター群馬 Tel: 027-363-5959

〒370-0001 群馬県高崎市高橋町7-7-9 高橋ビル 4F FAX: 027-364-3950 E-mail: info@kanata-shinbun.co.jp

KANATA
SHINBUN

令和7年
5月1日発行
第190号



所長挨拶

立夏の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今年の春は、やっと桜が咲いたかと思ったら冷たい雨が降ったり、まるで冬に戻ったような寒さが続いたりして落ち着かない日々を過ごしましたが、上の写真

はちょうどその桜が満開になった頃、月一回のボランティア清掃の際に撮影した高崎問屋町公園の光景です。赤い鳥居は公園の南東角地に鎮座する問屋町稲荷神社。毎年この時期には京都の伏見稲荷大社から神職を招いて春の例大祭を行います。問屋町町内各社の社長たちがかかして境内の折りたたみ椅子に着座する中、一時間以上かけて念入りに神事が執り行われます。

私もその仲間に加えてもらって今回が20回目になりました。

高崎問屋町の歴史をひも解いてみますと、その始まりは昭和38年4月の「高崎卸商社街協同組合」の設立に遡ります。江戸時代には「お江戸見たけりや高崎田町」と言われたように、もともと高崎は商業の街として発展し、旧市街地には古くからの問屋や商店が数多く立地していました。昭和30年代の高度成長期に、市街地の狭さゆえに店舗や倉庫が拡張できない、駐車スペースが取れないなどの理由から、他の広い場所に新たに街を造成して各社が一斉に移転しようとするようになったのはいわば時代の必

然とも言えるでしょう。

白羽の矢が立ったのが、市街地から2キロメートル北に位置する田園地帯。私が子供の頃、その場所には見渡す限りの田んぼが広がっていたのを思い出します。昭和42年、11万坪という広大な土地に、市内卸商社170社が移転し、日本で第1号の卸商業団地が誕生しました。

市街地からは信越本線の線路を超える末広陸橋が整備され、中央通りが問屋町を抜けて国道17号線バイパスまで繋がります。一方町の北側には、今は高崎環状線の一部となる道路が作られ、こちらは高崎線の線路をまたいで旧17号線に繋がりました。こうして将来にわたる交通の便を重視して整備したことが、今や卸商社だけでなく様々な小売店や飲食店、サービス産業の集積を招く結果となったのでしょうか。その当時、全国にいくつもの卸商社団地が造成され、第1号の高崎問屋町には多くの人たちが視察に訪れたと言いますが、その後衰退してしまったところも多いと聞くと、高崎問屋町の現在の発展の要因はこの交通網の良さにあったのではないかと考えざるを得ません。

さらに21年前、私たちの事務所が隣町から移転してきたその年に、J Rの新駅である高崎問屋町駅が開業し、大学もできて若い学生たちも行き来する賑やかな街に変貌しました。

これからもこの問屋町とともに、さらには町に貢献しながら、私たちの事務所も一緒に成長できればと考えています。

過ごしやすい初夏を迎えたと思ったら、いきなり夏日を記録しています。

皆さまには季節の変化に十分留意し、お元気に毎日を過ごされますようお祈り申し上げます。

Contents

P1 所長挨拶・目次
P2 税務トピックス
P3 職場の教養
P3 将軍の日

P4 読書感想文
P4 新入社員紹介
P4 編集後記



かなた税理士法人 ～税務TOPICS～

知らないと損する!?

お金や税金ニュース

第17回では特別枠を整理し、原点回帰で経営計画を強化!

小規模事業者持続化補助金

小規模事業者が直面する制度変更に対応し、販路開拓や業務効率化の取組を支援するため、必要な経費の一部を補助します。これにより、地域の雇用や産業を支える事業者の生産性向上と持続的発展を図ります。

申請枠と補助率 第17回公募 5月1日申請開始!

	一般型				創業型	共同・協業型	ビジネス コミュニティ型
	通常枠	インボイス 特例	賃金引上げ 特例	災害支援枠			
要件	経営計画を作成し販路開拓等に取り組む小規模事業者	免税事業者から課税事業者へ転換	事業場内最低賃金を50円以上引き上げる小規模事業者	令和6年能登半島地震等における被災小規模事業者	産競法に基づく「認定市区町村」による特定創業支援等事業の支援を受けた小規模事業者	地域に根付いた企業の販路・開拓を支援する機関が地域・振興等機関となり、参画事業者である10以上の小規模事業者の販路開拓を支援	商工会・商工会議所の内部組織等
補助上限	50万円	補助上限 50万円上乗せ	補助上限 150万円上乗せ	直接被害: 200万円 間接被害: 100万円	200万円 ※インボイス特例は適用	5,000万円	50万円、2以上の補助対象者が共同の場合は100万円
補助率	2/3 ※賃金引上げ特例を選択した事業者のうち、赤字事業者は3/4			定額2/3	2/3	・地域振興等機関の経費:定額 ・参画事業者の経費:2/3	定額
対象経費	機械装置等費、広報費、ウェブサイト関連費、展示会等出展費(オンラインによる展示会・商談会等を含む)、旅費、開発費、資料購入費、借料、設備処分費、委託・外注費など			左記に加え、設備処分費、修繕費、車両購入費	通常枠同様	【地域振興等機関】人件費、委員等謝金、旅費など【参画事業者】旅費、借料、設備・設計費など	専門家謝金、専門家旅費、旅費、資料作成費、借料、雑役務費、広報費など

一般型活用事例① 飲食サービス業

繁忙期昼営業の回転率アップ
および夜営業の客単価向上の実現

夜営業時の「ビアースタイル居酒屋」を広く周知するために、**チラシの作成**を行った。また新たな顧客を獲得するため、**ワインセラー等新しいアイテムを導入**。昼営業時に使用していた**厨房機器(業務用フライヤー)の交換**を行い、調理時間の短縮を実現。

一般型活用事例② 宿泊業

ホームページリニューアルと
日帰りプラン導入DMによる集客増

日帰りプランを新設、ホームページリニューアル、**折込チラシ発送**などで販路開拓に取り組む。**労務管理システム**のソフトウェアを購入し、出退勤管理を含む人事・給与管理等業務の効率化を図る。

創業型活用事例 金属加工業

技術革新による事業の拡大
及び生産性の向上

開業後、**ロボット溶接機械を導入**することで、技術革新による事業の拡大及び生産性の向上を図る。

販路開拓や業務効率化などチャレンジを応援します!

朝礼にて ～職場の教養～

毎日の朝礼で、一般社団法人倫理研究所の「職場の教養」を輪読し、感想を述べています。その感想で、良かったものを紹介致します。

2/28(金)草木の生き様

まもなく春が訪れます。暖かな季節になると、さまざまな木々や草花が芽吹き、豊かな色彩で私たちの心を癒してくれるでしょう。

一方、冬の冷たい空気の中でも一生懸命に葉を広げる植物も多くあります。オオイヌフグリやナズナなど、寒い季節に花を咲かせる野草もあり、その小さな姿に秘められた生命力には驚かされます。

また、葉が落ちた木々は一見すると寂しげですが、その内部では来たる春に向けて着々と準備を進めています。寒風に身を晒しながらもひたむきに生きる姿を見ていると、力強さを感じることでしよう。

私たちもまた、生きている限り多くの苦難に遭遇します。時には心がくじけそうになることもあるでしょう。そんな時、草木の粘り強い生き様を思い出すことで、勇気を得られるかもしれません。

苦しいと感じるときがあっても、必ず春が巡ってくるように、自らの状況を改善できると信じて、明るく堂々と問題解決に取り組みたいものです。

今日の心がけ 困難に向き合いましょう

本日は、冬の草木に例えて困難に立ち向かう事の大切さが書かれていました。

仕事の課題や家庭の課題など人生に困難はつきものです。

困難な状況に遭遇した際に、逃げるのか、立ち向かって困難を乗り越えるのかで、その後の人生は大きく変わってきます。

私は、全ての困難に立ち向かう必要は無いと思っています。

人に迷惑を掛けないようにする必要がありますが、時には逃げても良いと思います。

やった事の無い仕事や事柄に取り組む際は、かなり勇気がいるし、大きなストレスにもなります。

自分で取り組む事が出来れば一番良いのですが、自分で出来ないところは人に手伝ってもらいながら困難を乗り越えるなど選択肢もあります。

どう立ち向かうのかをその都度考えて実行して行きたいと思いました。

(文責:小野寺)

将軍の日(中期5カ年経営計画作成セミナー)

将軍の日とは

戦国時代、将軍が戦場から離れた陣営で、戦局を見極め戦略・戦術を立てたように、経営者が日常業務から離れ電話も来客もない環境で、将来を見据え経営計画を作るセミナーです。

社長を将軍にみ立て、「将軍の日」と命名されました。

【受講料】
55,000円(税込)/名
2名様以降5,500円(税込)

お問い合わせ: かなた税理士法人
027-361-5568 担当: 森平



先行経営Tasseiを行いませんか!

先行経営Tasseiとはスバリ「経営者の描く目標を達成させること!」です。そして目標を達成させるためには「経営計画」が必要です。経営計画を立てても実現しないのは、計画とズレたことを把握したあとの行動が伴っていないから。計画とのズレを毎月見定め、修正行動に移す。この一番実践できない「修正行動」の部分で、実際に行っていくことが出来るのが「先行経営Tassei」なのです。と同時に、経営者の意識や行動が明らかに変化します。

【料金】月額 55,000円(税込)から